

結果の概要

個人の平均支払意思額は、3,619円。

鉄道サービスを重要視し、そのサービスの現況に不満を抱いている一方で、サービス向上のための金銭負担に対しては消極的な住民の傾向が判明した。

この詳細については掲載原稿を参照されたい。

生存時間分析

ある基準の時刻からある目的の反応が起きるまでの時間を分析対象とする統計手法。

CVMでは、ある基準の時刻が支払意思額に相当し、回答者がYESと答えるまでの金額を分析対象としている。

右図はJMPで実施した生存時間分析の結果である。

回答状況

CVM分析では、無回答及び部分回答を除外し、その他の誤答を修正したものを有効回答として扱った。

また、シナリオ条件の拒否による抵抗回答も除外の対象とした。

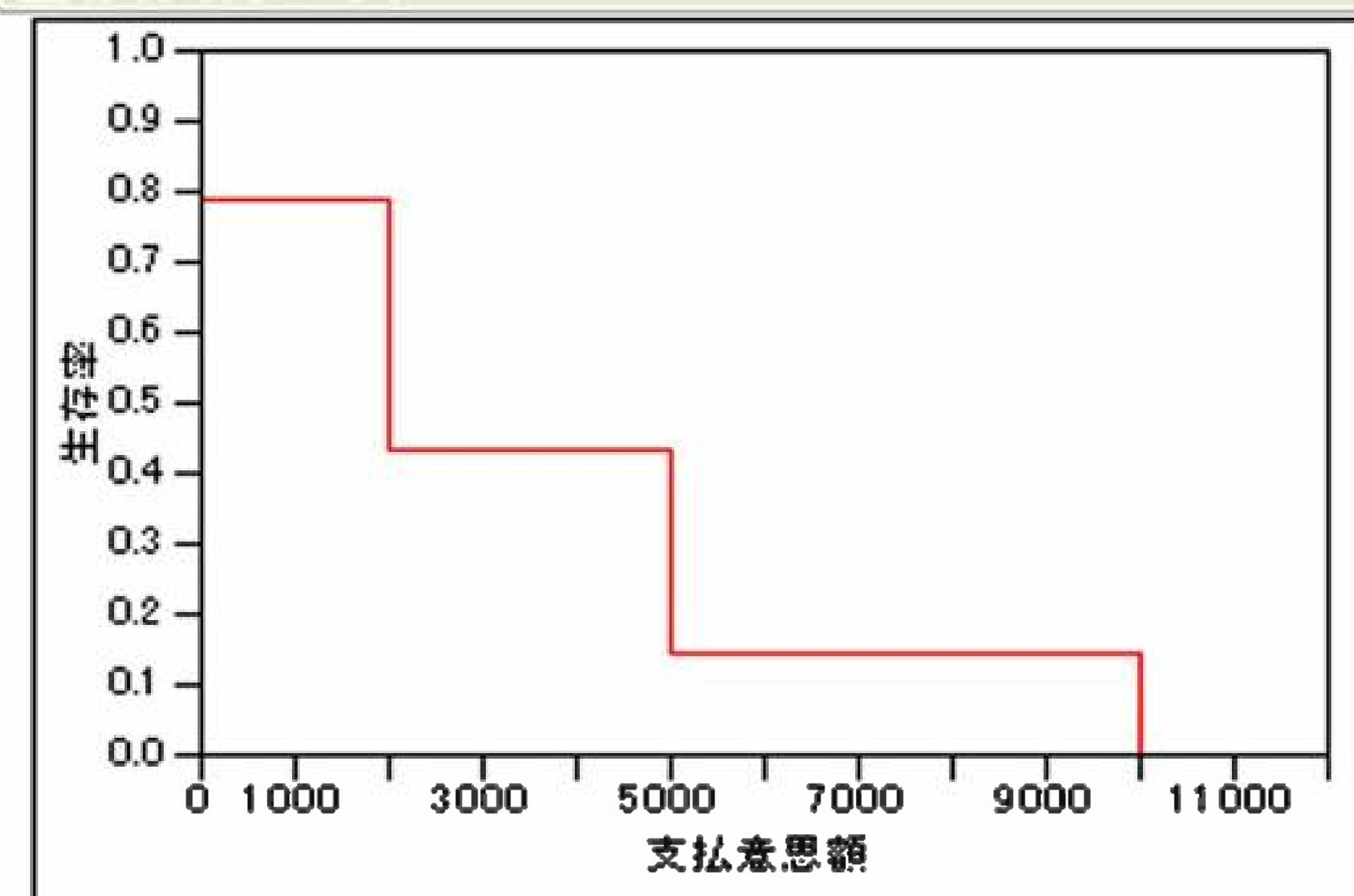
回収票	1,105	①
(無回答)	140	②
(部分回答)	46	③
(誤解回答)	7	③ 一部分のみ回答
(両列回答)	60	③ 質問を誤解した回答
対質問有効回答	919	④ = ① - ② - ③
(抵抗回答)	412	⑤ 両方とも選択し回答
最終有効回答	507	⑥ = ④ - ⑤

今回の調査では、高水準の完全回答率は確保できたが、CVM分析特有の抵抗回答（前提としたシナリオに納得できない人の回答）が半数を占めた。

抵抗回答抑制のためのシナリオづくりが今後の課題である。

Kaplan-Meier法によるあてはめ

生存分析プロット



イベントまでの時間: 支払意思額
度数 度数

時間ゼロにおける故障

グループ	故障	確率時間>0
組み合わせ	106	0.790927

極値パラメータ推定値

パラメータ	推定値	下側95%	上側95%	故障数
Lambda	8.5504206	8.4883684	8.6114496	507
Delta	0.5913093	0.5494893	0.6380101	507

Weibullパラメータ推定値

$\alpha = \exp(\lambda)$ $\beta = 1/\delta$ のときの極値に等しい

パラメータ	推定値	下側95%	上側95%	故障数
Alpha	5168.9278	4857.9334	5494.2074	507
Beta	1.6911624	1.5673734	1.8198716	507

要約

グループ	故障数	打ち切り数	平均	標準誤差
組み合わせ	507	0	3619.33	141.734

分位点

グループ	中央値時間	下側95%	上側95%	25%寿命	75%寿命
組み合わせ	2000	2000	2000	2000	5000

分布のあてはめ

